

2018年度 まあるい広場 事業報告

1. 事業活動重点事項の成果及び課題

(1) 就労継続支援B型

【作業活動】定員 20名 契約者数 29名

・昨年度から継続して、販売活動のみならず、作品展示の機会も増やす努力をしてきた。公募展では今年度も受賞者が2名。家族がとても喜んでいたことは、何よりも嬉しいことであった。

・千葉市文化振興課主催のイベントでの展示を、千葉市在住のアーティストと一緒に数ヶ月かけて準備をした。専門家から芸術作品としての評価を受けたことは大きな刺激となった。職員は、利用者が自由に表現することができる環境（自由に何かをやってみたいと思う気持ちとその気持ちを受け入れられる空間）を整える努力をしてきたが少しずつ形となってきた。作品のレンタル料収入という、新たな収入源を得ることもできた。今後も、利用者のやりたいことやできることを、どのように作品や、製品にしていくかを考えていくことを基本として活動していきたい。

・都内、他市での展示販売を数回行ったが、どれも好評で売り上げにもつながった。売り上げ総額は2017年度を40万円ほど上回ったため、工賃も上がった。

【生活支援】

・30代半ばはじめて痙攣を伴う発作を起こして、てんかんと診断を受けた利用者が2名いた。心身の変化は成人期でも生じるため、日中の活動中でも、行動を注意深く見守る必要を感じた。

・休日の過ごし方や、歯科通院などに移動支援事業を利用することを勧め、親がかりの生活を変えていくような支援を始めた。本人たちは、抵抗なくヘルパーとの外出等を楽しんでいる。まだ、数人ではあるが、他の利用者と親もその様子を見て、利用を始めるなどの変化が出てきている。

【地域】

・千葉市内の小学校の放課後支援の一環で、織物・和紙の体験教室を行った。昨年度より実施校が増え、小学生と利用者双方にとって、良い機会となっている。

・ホームページやブログの記事を見て、ギャラリーやショップなどの来客が少しずつ増えている。また、まあるい広場に近い場所での販売に出店することが、良い宣伝となり、足を運んでくれる人につながっている。

・近隣の清掃活動も続けており、声をかけて下さる人が増えてきた。

就労継続支援B型（定員20契約29）

	開所日数	延べ利用日数	平均利用者数/日
就労継続支援B型	313	6560	20.9

(2) 短期入所・日中一時支援事業 利用定員 短期4名・日中2名

地域で暮らす障害者にとって、短期入所事業・日中一時支援事業ともに、必要不可欠なものの一つとなっている。家族の都合や、冠婚葬祭、将来の生活に向けた体験的利用など、需要は多い。しかし、事業所数は少なく、事業所側の事情で事業を廃止するところも出てきている。今年度も、利用希望のある人たちにそれぞれ個別に対応し、協力してもらうことで、利用の調整を行い、概ね希望に応えることができた。相談支援事業所とも連携し、利用希望者に対応した。B型利用者の親の入院で、長期的な受け入れをした。

短期入所・千葉市日中一時支援

	開所日数	延べ利用者数	述べ利用日数	平均利用者数/日
短期入所	336	481	1685	5.2
日中一時支援	336	159	463	1.4

2. 運営について

①研修 主な内部研修

- ・法人の成り立ちと理念について。
- ・障害者の権利をまもることについて（虐待、身体拘束などを考える）
- ・障害をもつ人の創作活動の取り組み：著作権やアートマネジメントについて。

②職員会議

- ・月の日程、行事への取り組み方等について。
- ・B型事業の販売促進方法の検討や、展示会の企画運営。
- ・短期入所・日中一時支援事業については、受入れ体制や個別のケースの問題について適時検討。

③処遇会議

- ・個別支援計画の作成・モニタリングに合わせて年3回全利用者についてのケース検討を行った。その他、必要に応じて検討した。
- ・屋外のエレベーター設置については、清水基金に助成金の申請を行ったが、選外となったため実施を繰り延べることとなった。

